

越生小学校

11月20日(水)、21日(木)に5年生が梅園小学校と合同で宿泊学習に県立小川げんきプラザへ行きました。1日目は、天候が悪く、計画を一部変更して、クラフト体験やスタンプラリー、プラネタリウム、キャンドルファイヤー等を行いました。2日目は、天候も回復し、秋晴れの中、カレー作りをしました。教室では学ぶことができない貴重な体験をすることができました。



梅園小学校

11月20日(水)、21日(木)に越生小学校の5年生と合同で県立小川げんきプラザへ行ってきました。宿泊学習は、クラフトづくり、スタンプラリー、キャンドルファイヤーなどを通して、越生小学校の5年生と交流を深めるとともに、楽しい思い出をつくることができました。



越生中学校

11月9日(土)に、光耀祭を行いました。第1部では、各クラス代表生徒による「これからの越生町のために私たちができること」をテーマに発表会を行いました。第2部では、自衛隊の方をお迎えし、体験を伴う「防災教育」を実施しました。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加するこどもたちを写真で紹介するコーナーです。

越生浪漫 No.191

巳年の越生

明治以降の越生の主な出来事を拾ってみました。

明治22己巳(1869)

11月 法恩寺(大字越生)が神仏混淆廃止のため境内八幡神社の移設を求める文書を出す。

明治14辛巳(1881)

12月 大字黒山(現梅園小学校南分校跡地)に黒山学校の校舎新築/法恩寺門前脇に扇町屋警察署越生分署の庁舎が新築される。

明治26癸巳(1893)

1月 春日橋(黒岩―西和田間)が落成、開橋式。

明治38乙巳(1905)

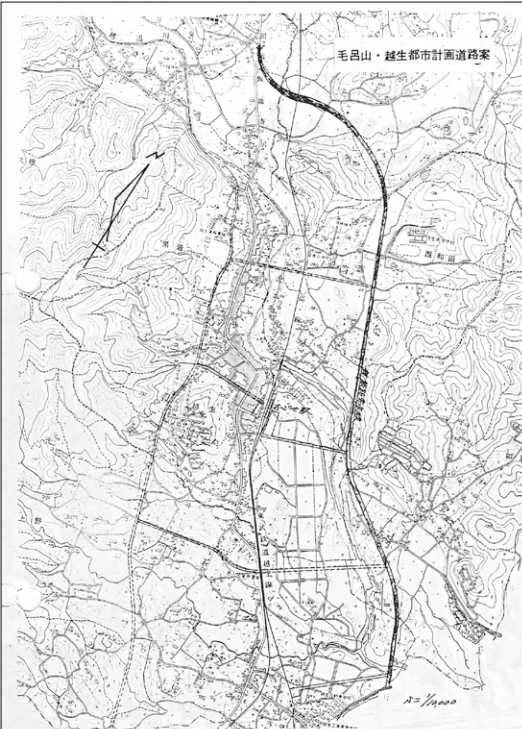
4月 大字小杉の民家に梅園村役場を移転する/☆9月 日露講和条約調印。

大正6丁巳(1917)

越生尋常高等小学校敷地内に忠魂碑(日露戦争)建立。

毛呂山・越生都市計画道路案

毛呂山・越生都市計画道路案



毛呂山・越生都市計画道路案(昭和52年1月号 広報おごせ)

昭和4己巳(1929)

10月 武州自動車株式会社(上町)が乗合自動車の営業を開始。路線は津久根―越生―沢田―川角―脚折―鯨井―川越で所要時間1時間半。

昭和16辛巳(1941)

☆3月 国民学校令公布。越生国民学校、梅園国民学校に改称し、尋常科は初等科に改組される。越生高等科に特修科(1年)を置く/☆12月 太平洋戦争勃発。

昭和28癸巳(1953)

☆9月 町村合併促進法公布、10月に施行。

昭和40乙巳(1965)

2月 町村合併10周年記念式典挙行/4月、埼玉県・緑化推進委員会主催の植樹祭挙行。弘法山に桜150本、檜2千本の苗木を記念植樹/5月、山吹の里に水車小屋を復元/10月第10回国勢調査・人口9,993人(男4,876人、女5,117人)

昭和52丁巳(1977)

3月 自然休養村センター完成/4月 越生小学校新校舎(旧越生中学校跡地)の使用開始。毛呂山越生都市計画道路(新飯能寄居線)決定/

埼玉県厚生年金休暇センター(現ニューサンピア埼玉おごせ)構想発表。

昭和64平成元年己巳(1989)

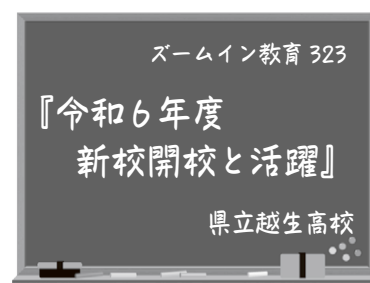
1月 越生100周年実行委員会設立、町制施行100周年記念事業開始/2月 越生梅林梅まつりでミニSL運行開始/4月 越生駅東区画整理事業完了。越生東一丁目〜七丁目誕生/7月 わいわい大行進、第1回越生まつり開催/10月 越生観光案内所(OTIC)オープン/11月「越生郷土かるた」作成。越生特産物加工研究所「元氣百梅」販売開始。

平成13辛巳(2001)

1月 TBS番組『さんま



左：町制100周年記念「越生郷土かるた」 右：平成24年度改訂版



県立越生高校

本校は、令和8年度に鳩山高校と統合し新校としてスタートします。越生高校は、創立五十二年目を迎え、自然豊かな学習環境と地域に根ざした学校です。今まで、各方面で活躍されている方々を多数、輩出しています。現在、新校開校に向けて、県教育委員会の指導のもと校名の検討や施設設備の改修等を進めております。また、普通科と美術表現科(仮称)の特色あるカリキュラム編成も行っていきます。

文化祭では、コロナ禍前のように生徒会を中心に普通科と美術科の生徒が協力して一般公開も行いました。ロードレース大会では、地域の方々の協力を得て、一般道を使用して実施しました。

美術科は、十九年連続「全国高等学校総合文化祭」出



文化祭(白梅祭)



ロードレース大会



●埼玉県高校美術展、全国高等学校総合文化祭等出品作品

品や「埼玉県高校美術展」に多数、出品しました。県内高校で唯一の映像表現があります。普通科、美術科ともに自分の興味に合わせ、選択できる教科目を設けられ、生徒の能力が十分発揮できています。



「ご長寿早押しクイズ名人戦」の記事(平成13年2月号 広報おごせ)